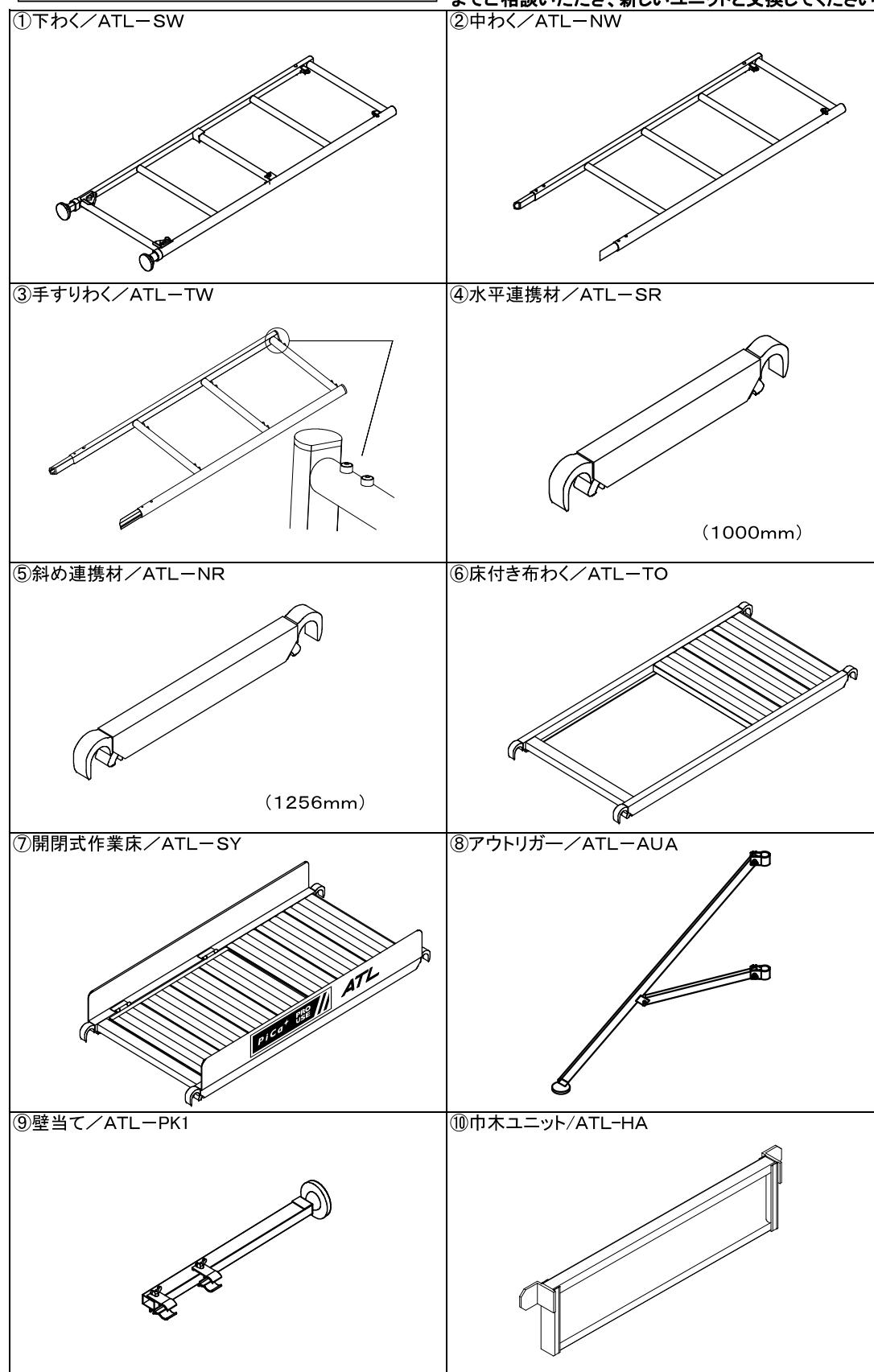


組立説明書

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
この組立説明書は、本製品の組み立て方と使用上の注意事項について記載しています。
製品の取扱につきましては、別紙「取扱説明書」をご覧ください。
ご使用前には必ず、取扱説明書及び組立説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、
内容にしたがって正しくお使いください。また、お読みになった後も、この組立説明書を
すぐに取り出せる所へ大切に保存してください。

ユニット名称一覧



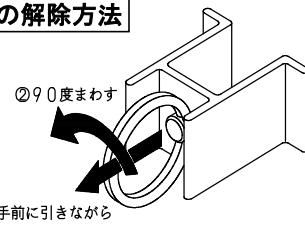
基本的な操作について

製品の組立てを行う前に、それぞれの基本的な操作方法を覚えておいてください。

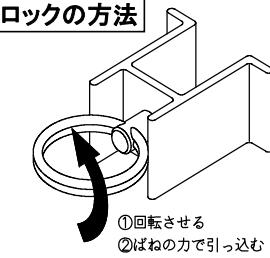
【抜け止めの操作方法】

(下わく、中わく、開閉式作業床)

ロックの解除方法



ロックの方法



△注意

- 工具などで無理に締め付けないでください。
製品が破損や変形する恐れがあります。

【わくの脱着方法】

(下わく、中わく、手すりわく)

組立時

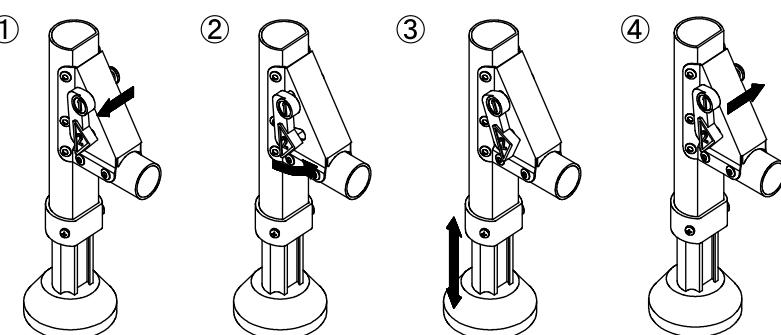
- 抜け止めをロック解除状態にします。
- 左右のジョイントを、支柱方向へまっすぐ挿入します。
- 抜け止めをロックします。(支柱間に約5mmのすき間ができます。)

解体時

- 抜け止めをロック解除状態にします。
- 支柱方向へまっすぐに抜きます。

【脚の伸縮方法】

(下わく)



- 操作レバーの「①」部を手前に引き、ロックを解除してください。
△注意

- 4ヶ所の操作レバーが押し込まれて、ロックされているか目視及び操作で確認してください。押し込むことができないときは、スライド支柱を少し伸縮させて、押し込むことができる位置にスライド支柱を移動させてください。
それでも押し込むことができないときは、使用しないでください。
- スライド支柱を無理に引き伸ばしたりしないでください。
ロック装置に無理な力が掛かり、故障の原因になります。

【開閉踏ざん使用方法】

(下わく)

図のように踏ざんを開いて、通り抜けてください。

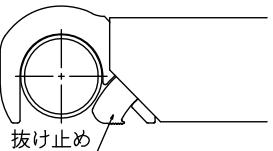
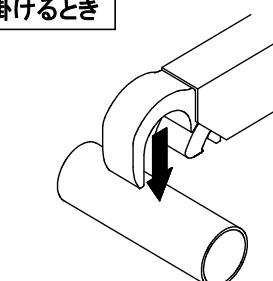
△警告

- 開閉のとき、可動部で手をはさまないよう注意してください。
- 通り抜けたあとは、踏ざんをすぐに閉じてください。
- 登り降りするときは、踏ざんが閉じていることを確認してから、登り降りしてください。
踏ざんが閉じていないと、足を踏み外して転倒や転落の恐れがあります。

【フックの操作方法】

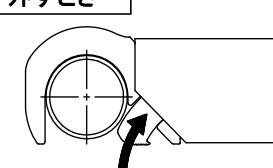
(水平連携材、斜め連携材、床付き布枠、開閉式作業床)

掛けるとき

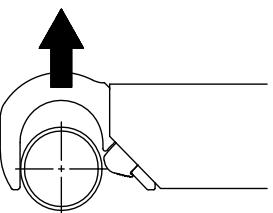


- 踏ざんに掛けると、自動でロックされます。

外すとき

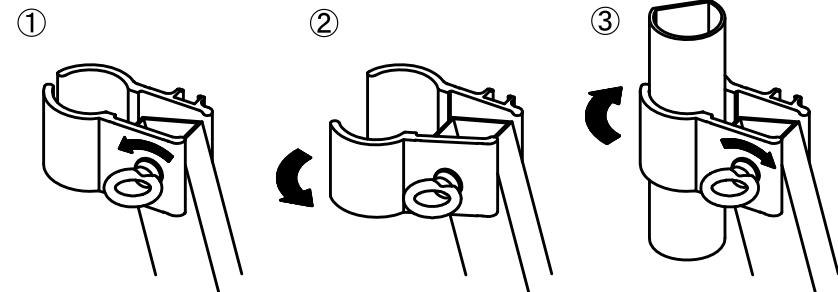


- 抜け止めを押し上げます。



- 抜け止めを押し上げたまま、フックを外します。

【アウトリガーの操作方法】



- アイボルトをゆるめます。
(約10mm。外す必要はありません)
- クランプを広げます。
- 支柱の任意の位置でアイボルトを締め付けて固定してください。

△警告

- 使用前や使用中に、ボルトがゆるんでないか確認してください。
ゆるんでいるときは増し締めしてください。
- 全てのアウトリガーにぐらつきがないか確認してください。
ぐらついているときは、再度裏面の組立て手順を確認し、ぐらつかないように取り付けてください。

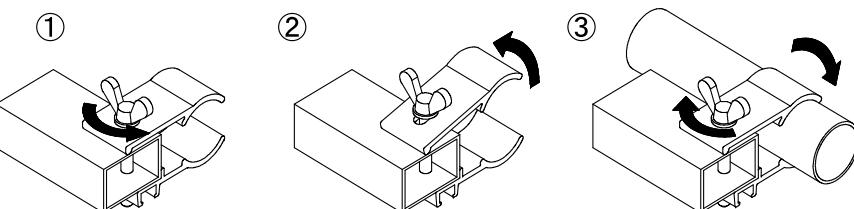


収納状態

△注意

- 工具などで無理に締め付けないでください。
製品が破損や変形する恐れがあります。

【壁当ての操作方法】



- 蝶ボルトをゆるめます。
(約5mm。外す必要はありません)
- クランプを広げます。
- 踏ざんの任意の位置で蝶ボルトを締め付けて固定してください。

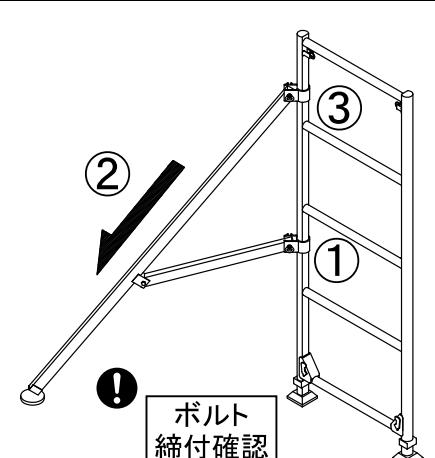
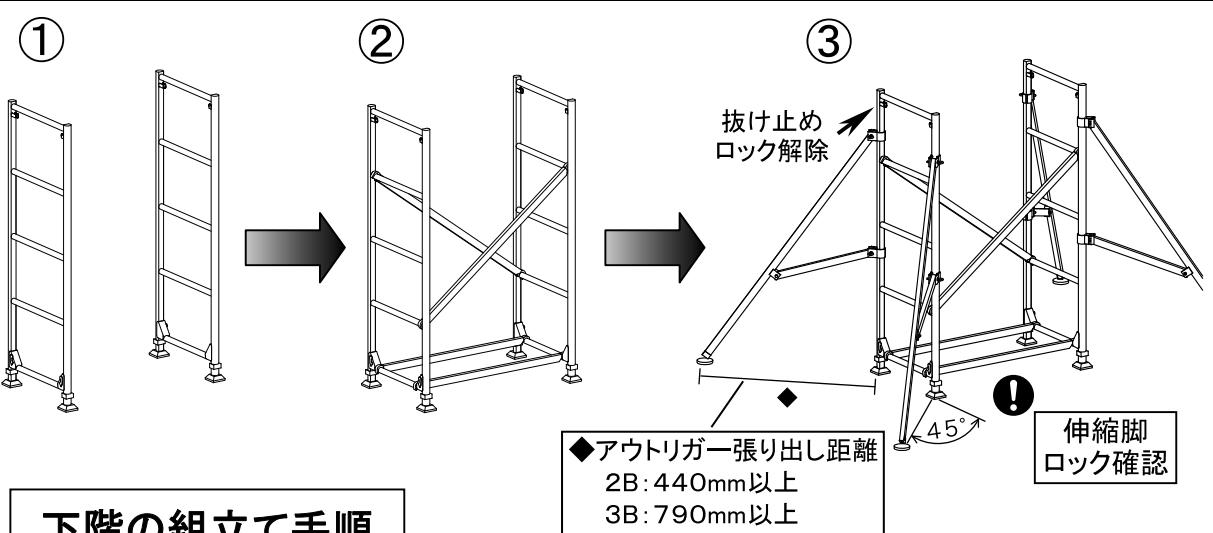
△警告

- 使用前や使用中に、ボルトがゆるんでないか確認してください。
ゆるんでいるときは増し締めしてください。

△注意

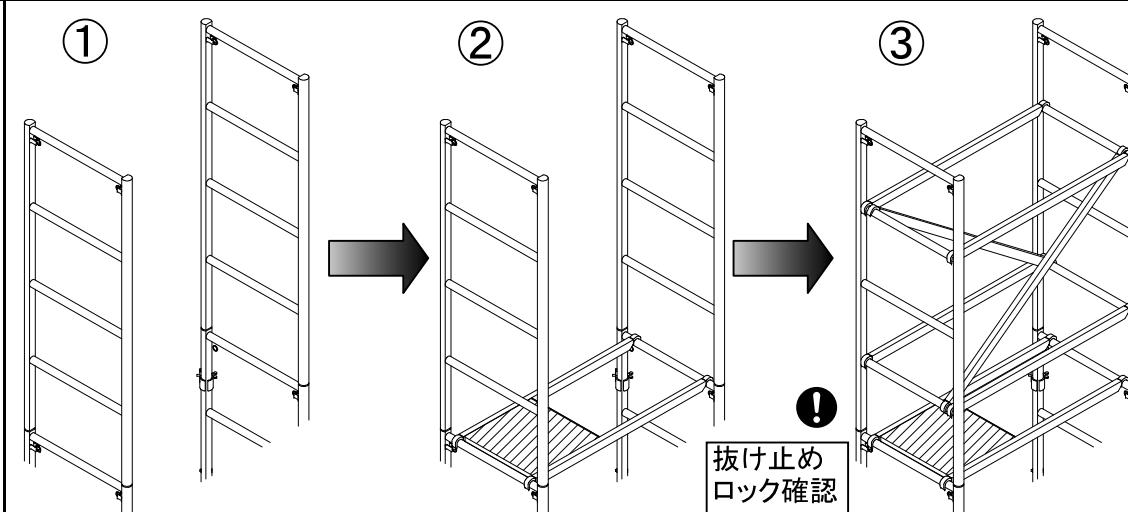
- 工具などで無理に締め付けないでください。製品が破損や変形する恐れがあります。

組立て手順 (組立ては、必ず二人以上で行ってください。図は、ATL-2B型(2段)の組立てを表していますが、1段、3段での使用時も同様に組立ててください。)



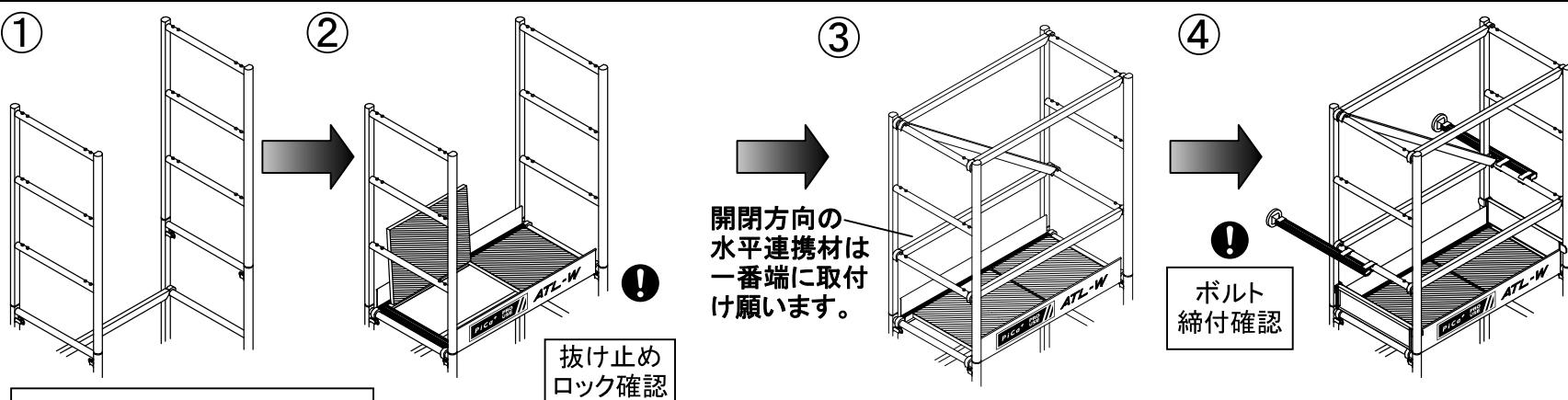
アウトリガーパーり出し距離

- 下わくを立てます。(抜け止めのロックは解除しておいてください)
 - 図のように、斜め連携材を上から2番目と4番目の踏ざんに2本、水平連携材を最下段の踏ざんに2本掛けます。
- △警告** 踏ざんや水平連携材が、水平になるように伸縮脚を調整してください。
傾いたまま使用すると、バランスをくずして転倒や転落の恐れがあります。
- アウトリガーを四方に取付けます。
- △警告** アウトリガーは、昇降面に対して45°ぐらいいの角度で、図の距離以上に張り出してください。
壁面付近の設置で十分な広さが確保できないときは、壁当てを使用してください。
使用前、使用中は、ボルトがゆるんでいないか確認してください。
ゆるんでいるときは増し締めしてください。アウトリガーの取付けが不十分ですと、バランスをくずして転倒や転落の恐れがあります。

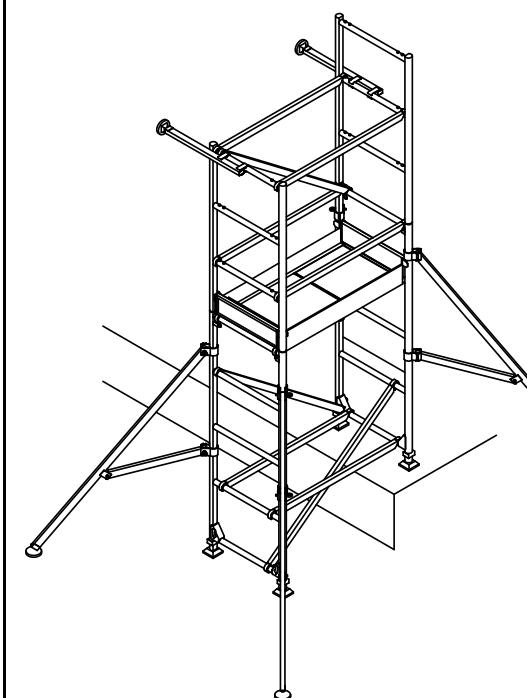


中階の組立て手順

- 中わくを取付けます。
 - 下わくの最上段の踏ざんに、床付き布わくを取り付けます。
 - ・下階(中階)の抜け止めが、ロック解除されていることを確認してください。
- △警告** わくを連結したら、すぐに抜け止めをロックしてください。
ロックせずに使用すると、わくが抜けて、転倒や転落の恐れがあります。
- 図のように、斜め連携材を上から2番目と4番目の踏ざんに2本、水平連携材を上から2番目と4番目の踏ざんに各2本掛けます。
 - ・3段で使用するときは、もう一段中階を組み立てます。
このとき床付き布わくの開口部は、下の床付き布わくの開口部とは反対側になるように設置してください。(右図参照)
- ・開口部は交互に設置
(開閉式作業床も同様)



段差がある場所での組立て方



段差が300mm~680mmある場合は下図
のように、わくを1ステップずらして組立ててください。

- 手すりわくを取付けます。(中階(下階)の抜け止めが、ロック解除されていることを確認してください。)
 - 中階(下階)の最上段の踏ざんに、開閉式作業床を取付けます。
このとき開閉式作業床の開口部は、下の床付き布枠の開口部とは反対側になるように設置してください。
- △警告** わくを連結したら、すぐに抜け止めをロックしてください。
ロックせずに使用すると、わくが抜けて、転倒や転落の恐れがあります。
- 図のように、斜め連携材を最上部と上から3番目の踏ざんに1本、水平連携材を、最上部と上から3番目の踏ざんに各2本掛けます。
 - 必要に応じて、壁当てを取付けます。(できるだけ上部の踏ざんに取付けてください。)
- △警告** 使用前、使用中は、ボルトがゆるんでいないか確認してください。ゆるんでいるときは増し締めしてください。壁当ての取付けが不十分ですと、バランスをくずして転倒や転落の恐れがあります。